

25 松政第 91 号
平成 25 年 11 月 5 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 山田佳臣 様

長野県 松川町長 深津 徹

リニア中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見について

日頃、J R 飯田線の運行管理による地域住民の生活利便性の確保にご理解とご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり意見を申し上げます。リニア建設事業が開始されると、発生土の運搬等により地域住民の生活環境に与える影響は多大なものとなることは明白であります。事業を進めるに当たっては、これら事項を十分に勘案され、地域住民の生活に負荷を与えないよう必要な措置を講じるようお願いします。

記

1. 地域住民の生活環境の安心・安全の確保

建設発生土に係る処理候補地の選定に当たっては、地元住民に十分な説明・合意について J R が責任をもって行うこと。また、処理に際しては、最終処理地が地域住民の生活や自然環境等に影響を及ぼさないよう良好な土質の保持や、防災対策、景観対策等の対策を行うこと。

2. 建設発生土の運搬及び使用道路について

建設工事に係る通行経路については、地元と十分に協議した上で決定することを前提とすること。特に地元の主要幹線道路である、主要地方道伊那生田飯田線、主要地方道松川インター大鹿線は、生活道路や通学路として利用されており、工事車両の通行による地域住民の生活環境に与える影響は多大なものとなることから、必要な道路改良、道路新設等の地域への影響回避措置を行うこと。使用する道路についての、安全確保、渋滞対策、地元車両優先等地域に配慮した対策を示すとともに、工事期間中長期に渡り工事車両が通行する事による、道路等の劣化、損傷に対しては、J R が責任をもって対処すること。また、発生土の運搬については、運搬車両の台数、運搬時間など地域住民の生活環境へ影響を及ぼす事項については地元と協議し、合意した内容で進めること。

3. 地域住民の理解と町との信頼・協力関係の醸成と強化

リニア建設に向け、安全かつ円滑に事業を推進するためには、J R と町との信頼・協力関係の構築が不可欠。信頼・協力関係を構築するためにも、事業を推進に当たっては、地域からの要望を聞き取り、工事に関して地元へ十分な説明を行うとともに、地元合意をするなかで進めること。さらに、町への情報提供、協議を行い、信頼関係を構築するなかで十分な議論を行い、事業を進めること。

〒399-3303

長野県下伊那郡松川町元大島 3823

松川町役場まちづくり政策課リニア対策室

電 話 0265-36-7014 (直通)

ファクシミリ 0265-36-5091

